

# 令和 8 年度

## 学業特待生選抜 S 日程

## 日本史

### 出題意図

I	<p>第1問の「古代」については、7世紀に於ける我が国の政治状況と、国際関係に関連付けることで、正確な知識と共に、国内・国際の動向を連関して考える能力を問う出題を行った。7世紀は、中国への留学生・僧が帰国し、中国の支配制度にならった国づくりの機運が高まる中で、国内の対立も深刻化した状況があったことから、国内事情が複雑化した。それと同時に、中国大陸では隋が滅び唐が興り、また、朝鮮半島では百済や高句麗が滅び新羅が統一する国際情勢も、我が国に多大な影響を及ぼしているため、これらを総合的に問う出題となった。</p>
II	<p>II章については、平安時代後期から鎌倉時代にかけての土地制度の変容について把握する能力を問う。特に貴族や寺社のような既存勢力の没落と武士という新興勢力台頭の中で、各地の支配勢力図に影響が及び、それを象徴する出来事としての土地制度の変化を捉えている能力を問う設問となっている。</p>
III	<p>大正時代の政治の基本的な流れを理解しているかを問うている。合わせて、当時の社会問題や国際関係について、国内政治との関係性を理解できているかをみている。</p>